NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞と高校生、マツシロ

2．学校名

長野県私立長野俊英高等学校

3．実践者名（代表者名）

土屋　光男

4．学年

第1・2・3学年（全学年）

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

特別活動　郷土研究班　15人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞と高校生のマツシロの取り組みについて

7．目標(狙い)

新聞を身近なものに感じられるようにする。
新聞報道で取り組み対象（マツシロという遺跡）の見方を高校生が変えられることを実感する。

8．評価の視点

実際に新聞が身近に感じられたか。
新聞報道における取り組み対象の見方を高校生が変えられたと実感出来たか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

年間では計れません。この取り組みは24年間のまとめですので。
なお学園祭への発表でまとめたものは完成まで27時間ほどかかりました。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

新聞は朝日、毎日、読売、中日、信毎など
展開と留意点・24年間の新聞記事の切り抜きをまず正しくコピーする。
・そしてそれらを切り揃え模造紙に貼り合わせる。
・年月日順にしっかり貼れるように留意させる。
・完成したものをよく見て発見したことなどを書かせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

とにかく量の多さに圧倒された。また先輩の取り組みが遺跡の見方を変えたことを発見した生徒もいる。大きな自信と意欲増に結びついた。

12．成果と課題

新聞が身近になり、かつ新聞と協力することにより取り組みが前進することを確かめられた。今後は見方を変えられることを討論してさらに深めたい。